

地域と教育

第19号

—長崎県佐世保市黒島—

2020年9月

筑波大学博士課程人間総合科学研究科教育学専攻

「社会科教育学特講」調査報告

はじめに

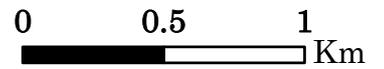
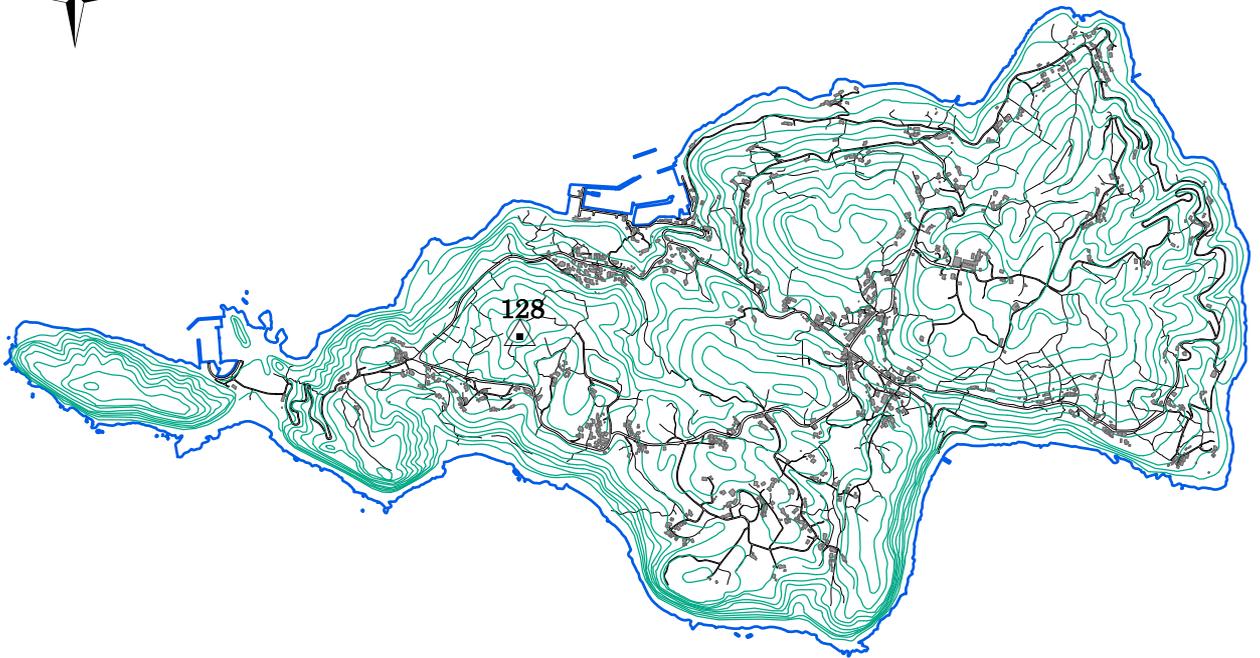
第19回となる「地域と教育」の調査地は、長崎県黒島である。黒島は、1954年に佐世保市に編入された。周囲12.5kmの黒島は、九十九島の最大の島である。2015年の国勢調査によると人口446である。江戸時代の後期にキリシタン禁教政策の弾圧から逃れるために、キリシタンたちがこの島に移住するようになった。1902年にはカトリック黒島天主堂が建てられ、現在でもこの島の住民の8割はカトリック信者といわれている。2018年に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界遺産に登録された構成資産のひとつとなっている。カトリックの黒島天主堂、修道院、共同墓地とともに、曹洞宗の寺院もある。黒島は8地区に区分されているが、そのうちの2地区は、仏教徒の住民が多くを占める。仏教徒を大半が占める地区とカトリック信者が多く占める地区とでは集落の景観が異なることが指摘されている。しかしながら、宗教的にはカトリックと仏教が共存してきた島である。産業としては農業や漁業を基幹としている。

黒島には、佐世保市立黒島小中学校（黒島はまゆう学園）がある。今回の調査は、黒島小中学校を核としながら、黒島の地域調査を実施した。調査は2019年10月27日から31日までの5日間で実施した。黒島へのアクセスは、佐世保から松浦鉄道相浦駅、もしくは定期路線バスで相浦桟橋までいき、そこからフェリーで50分（高島経由）である。通常、相浦から黒島まで1日3便のフェリーがでている。

この調査では、関係者の方々からお話をうかがい、貴重な資料を収集させていただいた。佐世保市教育委員会教育次長兼学校教育課長の陣内康昭氏、黒島小中学校校長の惣田正宏氏、黒島公民館長の山内一成氏、民宿つるさきの鶴崎時雄氏および鶴崎浩司氏をはじめ、学校関係者、住民の皆様には、大変お世話になった。このように多くの方々の協力のもとで調査を進めることができた。それにより、今回は5本の論稿を載せることができた。皆様には心より御礼申し上げます。今回の調査報告が、少しでも地域の教育、人々に還元できれば幸いです。

2020年8月

井田 仁康



長崎県佐世保市黒島
国土地理院基盤地図情報
<https://fgd.gsi.go.jp/download/mapGis.php>

目 次

はじめに	井田 仁康・・・・・	i
目次		ii
図 「長崎県佐世保市黒島」		iii
世界遺産を用いて地理的な見方・考え方を働かせる授業の構想 —「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を事例に—	Yang JaYeon・・・・・	1
黒島小中学校の義務教育学校化の特質 —施設一体型校舎の新築と「あり方検討委員会」の協議にみる—	大脇 和志・・・・・	17
宗教を基軸とした地域のつながりとへき地教育の取組みをめぐる —佐世保市黒島を事例に—	須賀 忠芳・・・・・	39
ふるさと黒島学のもつ可能性と課題 —佐世保市立黒島小中学校のふるさと教育に着目して—	深見 由利子・・・・・	62
離島における地域と学校の連携による教育実践の可能性と限界 —長崎県佐世保市黒島町民・黒島小中学校合同運動会を事例に—	張 傳博・・・・・	82
調査の概要		96

地域と教育 第 19 号 ー長崎県佐世保市黒島ー

筑波大学博士課程人間総合科学研究科教育学専攻
「社会科教育学特講」調査報告

発行日 2020 年 9 月 25 日

発行者 井田 仁康（筑波大学人間系教授）
〒205-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1
Tel &Fax 029-853-6731

印刷 株式会社いなもと印刷
〒300-0007 茨城県土浦市坂谷 6 丁目 28-8
Tel 029-826-1221 Fax 029-826-1080